

いたばし工業のあゆみ展

板橋区は伝統的に工業が盛んな地域です。明治9年に、加賀藩の下屋敷跡地につくられた陸軍の兵器工場が板橋の工業発展の足がかりとなりました。大正14年には、志村、前野町、小豆沢、本蓮沼、舟渡一带に危険物取扱工場や化学工場などが移転してきて、急速にひらけていきます。これらの地域の工場は太平洋戦争に向けて各種兵器の増産強化がはかられ、昭和10年代にかけて下請けとなる多くの中小工場が移転してきます。これらの中小工場は、兵器の製造を通じて技術力をつけ、戦後の板橋区の工業発展に大きく貢献していくことになります。

特に板橋区の花形産業となったのが光学機器です。昭和30年代後半には、区内での双・隻眼鏡の製造量が日本の総輸出量の70%を占めるほどでした。昭和40年代には都心から印刷関連業が移転してきて、区内最大の業種となりました。

そして昭和50年代、60年代の円高による競争力の低下、発展途上国の追い上げなどで区内産業は大きな変革を迫られました。しかし、平成時代の今日まで、生産拠点を海外へ移転したり、少量他品種の生産へ転換をはかったり、経営者・従業員の知恵と努力で時代の荒波を乗り越えてきています。



期間中、昭和三十年制作の広報映画「伸びゆく板橋区」の中から、当時の工場風景などを放映します。

開催日 2007年11月20日(火)～22日(木)
開催時間 8:45～17:00(最終日は15:00まで)
会場 板橋区役所 1階区民ホール

お問い合わせ先 板橋区公文書館

住所 板橋区本町24-1
電話 03(3579)2291
FAX 03(3579)2294

URL <http://www.city-itabashi.tokyo.jp/kbunsho/>